REPORT●中三川大地(NAKAMIGAWA Daichi)　PHOTO●白谷　賢(SHIRATANI Ken)

WORK Equip E05 × DC-601 Maserati Ghibli Trofeo

世界最高峰の〝リム屋〟が支える
質実剛健なエキゾチック

ワークのエンジニアは自分たちを「リム屋」だと言った。「世界一のリム屋になる」と皆で鼓舞して今日まで成長を続けたという。言い得て妙にして、まさにワークを体現するような言葉だと思った。

レースで勝つための強さ、そしてセッティングノウハウとして生まれた技術、それがマルチピースホイールだった。今でこそモータースポーツでは1ピースが主流だが、ひと昔前は多品種少量生産が可能となるうえ、時として現場でインセット変更ができるマルチピースが重宝された。F1を筆頭とするフォーミュラカーでも3ピースだった時代がある。

そんな時代を先駆者として駆け抜けたのがワークだった。今ではマルチピースを主体に多種多様なブランドを展開するが、礎はモータースポーツにある。特にリムの強さ、その設計手法には定評があった。当時は職人がリムをひとつずつ絞るような世界で、ワークは自社ですべて賄って勝てるホイールをつくった。

レースでの技術蓄積は、今日のアフターホイールに確実に活かされている。リム設計および製造に絶対的な自信を持つからこそ、多種多様なデザインが可能となり、結果として膨大なブランドおよびアイテムを生み出すに至った。その上で自在なサイズ設定やオーダーカラー、フィニッシュもお手のものだ。

そうした中で、ワークの原点にして象徴的なブランドがエクイップだ。1990年代のフォーミュラ3などに投下したレーシングホイールを祖に持つアフターホイールで、今ではそれらの復刻モデルが根強い人気を誇る。また、同じエクイップブランドとして、逆に未来を見据えたかのようにハイエンドカー勢に狙いを定めた3ピース・フォージドモデルであるE05、E10に注目したい。今回、京都に本拠を置くDC-601(ディーシーロイン)のマセラティ・ギブリ・トロフェオに組み合わされたのはE05だった。骨太の5本スポークやディスクを取り囲むピアスボルトでスポーツ性を訴えつつ、ボディ同色に彩ることでエレガントな風情も含ませる。イタリアンエキゾチックカーには相性抜群だということを訴えかけてきた。

アウターリムをグロスブラック・アナダイズド、インナーリムをマットブラック・アナダイズドとして黒く落とし込むことでも、ディスクがより強調されたようだ。先のピアスボルトはクローム仕上げである。これらはワーク独自のリムアレンジおよびセミオーダーカラーシステムを駆使してのもの。こうした小回りの良さこそ「最高峰のリム屋」らしい。フロント9・0J、リヤ10・5Jとして無理なく調和するサイズ感に持っていけるのも豊富なサイズオーダーができるからこそ。一定の範囲内であれば0・5J刻みで選べるほか、特殊P.C.Dにも対応するので、たとえレアなクルマであっても問題がない。エクイップE05は、ランボルギーニなどスーパースポーツカーへの装着実績も多々ある。

こうしたオーダーメイドホイールとして認知されるのはアメリカン鍛造ホイールだ。それは確かに独創的なデザイン性を持っていて、多種多様なオーダーメイドを可能とする。世の中に秀でたブランドやホイールは多々ある。だが、わかりやすくきめ細かいオーダー体制に加え、メイド・イン・ジャパン気質の信頼耐久性を重んじる姿勢など、ワークの安心感は絶大だ。ともすればレーシングカーよりも厳しい環境下に長期間さらされるストリート用のアフターホイールのことを熟知し、その上でマルチピースホイールの理想像を追い求めてきたのがワークである。

「レースやラリーとなれば、何があってもピットまで戻ってこられるホイールを。ストリートであれば乗り手の安全を最優先に」と断言したエンジニアの言葉を思い出しながら、ギブリ・トロフェオを見る。日本のエンジニア魂が加わったことで、それは質実剛健の宿るイタリアンエキゾチックカーだと思えた。

姿カタチは4ドアセダンながら、最高出力580PSのV8ツインターボを積む。これだけの高出力ながら普段使いも許容するマルチパーパスカーを難なく受け止めるのがワークだ。

PRICE LIST

19インチ(7.5J～15.0J)	16万2800円～
20インチ(7.5J～15.0J)	17万3800円～
22インチ(8.0J～11.5J)	22万2200円～
24インチ(8.5J～12.0J)	26万7300円～

リムアレンジ、セミオーダーカラーを駆使して仕上げた一例だ。ディスク面をボディカラーと同じホワイトとしてリムは黒く落とし込む。その上でピアスボルトをクロームで浮き立たせた。レッドキャリパーとの相性も抜群で、スポーツとエレガントが同居している。

問い合わせ／ワーク　☎06-6746-2859　https://www.work-wheels.co.jp/
車両協力／DC-601　☎075-748-6120　https://dc-601.com